

# 瀬戸ライフサポートセンター

## 地域包括ケアシステムに向けて

医療法人社団清和会 理事長 宮島 厚介

国は高齢者人口が最大となる2025年に向けて「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。住み慣れた地域で隣人と寄り添って支えあうケアシステムです。少子高齢化の急速な進展により、医療や介護の専門職に頼る現状の医療・介護保険制度では、今後、若い方々に大きな負担がかかります。できることは地域のみんなを支えていく「昔からある日本のお互い様の心」の再構築です。

当センターは、看護、介護を専門とするプロ集団です。地域で活躍されているケアマネジャーなど介護職の方々と連携し、専門職の目から地域を支えていきたいと考えています。そして、いつでもご相談に立ち寄りいただけるケアマネサロンを開設いたしました。また地域のソーシャルワーカー(SW)などの方々の研修室(カンファレンスルーム)も気軽にご利用いただきたく準備いたしました。



方々と連携し、専門職の目から地域を支えていきたいと考えています。そして、いつでもご相談に立ち寄りいただけるケアマネサロンを開設いたしました。また地域のソーシャルワーカー(SW)などの方々の研修室(カンファレンスルーム)も気軽にご利用いただきたく準備いたしました。

5階	イベントホール	屋上リハビリ広場
4階	瀬戸内荘ショートステイ【16床：併設型・従来型個室】 特別養護老人ホーム 瀬戸内荘【30床：多床室（4床室×5、2床室×3）・従来型個室4】 ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム 海【20床：ユニット型個室】	
3階	介護老人保健施設 瀬戸いこい苑【70床：多床室（4床室×13）、従来型個室18】	
2階	瀬戸内荘 デイサービスセンター 瀬戸内荘 居宅介護支援事業所 ケアマネサロン	瀬戸いこい苑 通所リハビリテーションセンター 訪問看護ステーション 瀬戸いこい苑 笠岡第一病院いこい指定居宅介護支援事業所
1階	給食センター 職員食堂 ベッド・マットコントロールセンター 図書室・研修室	

## ケアマネサロン・ケアカンファレンス 介護老人保健施設 瀬戸いこい苑 副施設長 田中 郁子

介護保険は平成12年に始まり既に16年経っています。高齢となり生活に支障が出た場合も、自宅や施設でその人らしい生活を保障する制度としてスタートしました。その介護保険制度の要と言われているのがケアマネジャーです。ケアマネジャーは医療や福祉の専門職として5年の経験を積み取得できる資格です。利用者・家族の思いや、生活に対する意向をくみ取ったうえでサービスを組み立てていきますが、独居の場合など地域の支援や見守り体制をどのように作り上げていかなどケアマネジャーが一人で抱えるには重すぎる課題も多くあります。

ケアマネジャーの事業所には複数のケアマネジャーが所属する事業所もあれば、一人で頑張っておられる事業所も多くあります。ケアマネジャーがそれぞれの悩みや課題を気軽に話し合い、相談できる場所としてケアマネサロンをご利用いただき地域に開かれたサロンとして成長していきたいと思ひます。



利用方法等についてはお気軽にお問い合わせください 瀬戸いこい苑 ☎:0865-67-0770

## 居宅介護支援事業所

瀬戸内荘居宅介護支援事業所 横山 明華  
笠岡第一病院いこい指定居宅介護支援事業所 新居 美早

居宅介護支援事業所の介護支援専門員(ケアマネジャー)は、介護を必要とする人が心身の状況などに応じた適切な介護サービスを利用できるよう、ケアプランの作成や各種サービス事業所との連絡調整などを行っています。住み慣れた場所で、その方が望む、その方らしい暮らしを送ることができるように、お手伝いさせていただきます。瀬戸ライフサポートセンターには、2か所の居宅介護支援事業所があります。どうぞお気軽にご相談ください。



瀬戸内荘居宅介護支援事業所  
☎:0865-67-3100



笠岡第一病院いこい指定居宅介護支援事業所  
☎:0865-67-0073



## 訪問看護ステーション

訪問看護ステーション瀬戸いこい苑 三原 由記子

点と点を線で結ぶケア、それが訪問看護の役割だと考えます。訪問看護は、決まった曜日、決まった時間に訪問し、利用者さんの状態を把握します。訪問時に行うケアもあれば、次回訪問まで安心して過ごして頂くよう、起こり得る事を予測し、それに対するケアを考え、実施出来るよう整えたりもします。

主治医や他サービスに情報を発信する、利用者さんとの架け橋になればと思っています。

そして、1日でも長く住み慣れた家での生活が続くようにと頑張っています。



訪問看護ステーション瀬戸いこい苑 ☎:0865-67-7171



## 瀬戸内荘 デイサービスセンター

瀬戸内荘デイサービスセンター 筒井 裕久

### 「移り来て 施設の窓辺に 水脈を引き 行き交う船の のどかなる瀬戸」

瀬戸内荘デイサービスは窓から瀬戸内海を望むことができる新天地へ移ってきました。窓辺の風景をデイサービスご利用者が詠んだ歌です。さて、平成27年度瀬戸内荘デイサービスアンケート調査では「心身機能の維持・向上」「入浴」「交流」への要望がそれぞれ7割以上を占める結果でした。



歩行訓練ができる長い廊下、調理ができるキッチン、一人ひとりがくつろげる家庭浴槽、海を望むことができる魅力的な窓辺など。これらの環境を活用し、ご利用者が在宅生活を継続していけるように支援していきます。全国的にコンビニの数より多いと言われているデイサービス。快適な環境は大きなアドバンテージとなりますが、最後は中身(サービスの質)の信頼で選ばれるデイサービスを目指します。デイサービスのありべき姿を追求し、常に改善に向け挑戦し続けます。



## 瀬戸いこい苑 デイケア

瀬戸いこい苑通所リハビリテーションセンター 青木 周子

在宅における自立支援を目的に、病状安定期において医師の指示により日帰りサービス(送迎・リハビリ訓練・入浴・食事等)を行っています。利用者の皆様がその方らしい生活を送るために、リハビリスタッフ、介護スタッフが自宅訪問し、そして医療職である医師や看護師共に多職種で話し合い、趣味や生きがい、社会参加できる、「意味のある生活行為」が毎日出来るように個別リハビリプランを立案計画しアプローチしています。今後も、その方らしい生活がいつまでもできるように支援していきます。





## 瀬戸内荘 入所

特別養護老人ホーム 瀬戸内荘 ・ 特別養護老人ホーム 海  介護長 山川 洋

平成26年5月15日の着工式、更地の状態を見た時に、どのような施設ができるのだろうと不安に感じると同時に、今までの当法人のサービスでは出来なかったことをしようと心に決めた事を思い出しながらこの記事を作成しています。「笠岡市の中に根差せる福祉の拠点をつくる。50年の間、存続できる施設をつくる。」事を目標として、移転計画を進めてきました。新しい施設の設備1つ1つにかぶと会が、平成6年に事業を開始して今日に至るまでの経験や専門性を集約し、独自のこだわりを形にしています。転倒時の衝撃を吸収する床材や、重度の障害があっても安全・安心に入っていただける入浴設備等、最新の設備もそうですが、トイレの高さや、手すりの位置等、細かい所までこだわる為に、建設業者と話し合いを重ね、納得ができない個所については県外まで足を運び納得できる高さや幅を細かい所まで調整して作られています。また、多床室、従来型個室、ユニット型個室の3パターンの選択が出来ることになったことにより、ご利用される方々の様々なニーズに応える事ができることが大きな特徴です。

笠岡第一病院との医療連携はもちろん、介護老人保健施設瀬戸いこい苑と福祉サービスの面で連携することにより、その方にとって最適な質の高いサービスが提供できるように職員一人一人努力を重ねて参ります。



## 瀬戸いこい苑 入所

介護老人保健施設 瀬戸いこい苑 藤澤 ゆかり

瀬戸いこい苑入所施設は、定員70名、要介護1～5の方が入所対象となります。医師、看護師、介護士、リハビリスタッフ、管理栄養士、**支援相談員**、ケアマネジャーなど、多職種が連携し、医療と生活をサポートしています。老健は本来、入院して体力・筋力が低下した方などを対象に、その人が大事にしている生活スタイルを尊重し、介護・医療・リハビリを提供、短期間で家庭復帰を支援する施設です。当苑も、今年3月より、在宅復帰・在宅療養支援機能加算の算定施設となり、家庭復帰をされるご利用者も増えています。反面、長期入所を余儀なくされ、入所中に最期を迎える方もおられ、医療中心ではなく、関わりを重視した馴染みの関係で、穏やかに過ごしていただけるような支援も行っています。また、ご家族不在時や介護疲れなどは、短期入所に対応していますので、お気軽にご相談ください。

### 支援相談員(ケースワーカー)の役割

介護老人保健施設 瀬戸いこい苑 藤井 典子

#### 支援相談員 とは？ … 介護老人保健施設の入所～退所までの相談窓口です。



ご利用者・ご家族の個別の事情に配慮しながら、施設内外の様々な専門職と連携を図り、困りごとが少しでも軽減するようお手伝いをさせて頂いています。

また、入所ご利用中、ご利用者⇄施設⇄ご家族との三者の関係をつなぐ役割も担い、公平・中立的な立場で仕事をしています。このたび、瀬戸ライフサポートセンター設立にあたり、病院・瀬戸内荘・地域との連携も更に強化し、病気や障がい、その他の生活困難を抱えても、その方らしく地域で暮らしていけるようなサポートを心がけていきたいと思っています。いつでもお気軽にご連絡・ご相談ください。

## 瀬戸ライフサポートセンターに向けてメッセージ

超高齢化社会において、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムが推進されています。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、医療・介護・福祉が手を繋ぐことが求められます。瀬戸ライフサポートセンターがその核となり、システムが形となり稼働されることを願っています。

そして、地域医療連携室もその一旦を担っていきたいと思います。

笠岡第一病院 地域医療連携室 寺田 洋子

これからは、入院患者さんがスムーズに在宅へ移行できるように、地域全体に視野を広げ病院完結型から地域完結型へシフトしていく必要があると感じています。今後は瀬戸ライフサポートセンターが核になり病態に応じたシームレスな対応を目指しています。

これからも病棟一丸となり、医療と介護・福祉の様々な職種と連携・協働していきたいと思えます。

笠岡第一病院 地域包括ケア病棟 大杉 靖子

### 屋上でのリハビリの様子

笠岡第一病院 リハビリテーション科 高橋 正弘

瀬戸ライフサポートセンターの屋上一面に、人工芝が敷かれた広々とした『屋外多目的広場』が完成しました。とても素晴らしいロケーションで患者さんの気分転換に訪れたり、退院へ向けての屋外歩行の実践練習を行うために利用しています。



### 給食センター紹介

笠岡第一病院 栄養管理科 高田 尚子

笠岡第一病院・瀬戸内荘・瀬戸いこい苑の3施設の食事を提供させていただくことになりました。1日の延べ食数は約700食です。今後は職員への食事も考えております。※詳細は次回「瀬戸の風」に掲載予定です。



## 第8回 健やかライフメンバーズ 意見交流会

### 瀬戸ライフサポートセンター見学

10月29日(土)健康教室終了後、「第8回健やかライフメンバーズ意見交流会」を開催しました。健やかライフメンバーズの会員数も135名となり、その内78名と大変多くの参加がありました。今回は新しく完成した「瀬戸ライフサポートセンター」を見学して頂き、その後メンバーズの皆様からご要望やご期待など貴重なお話を多数お伺いすることができました。皆様のお言葉を励みに、地域の皆様に信頼される病院・施設を目指してさらに努力して参ります。



**【見学ツアーに参加された方の声】** 分かりやすく案内して頂き、立派な施設でビックリしました。眺めも最高で、入所されている方、働かれている方のことを考えた素晴らしい環境が整っていて、地域になくはならないセンターとして今後益々期待しています。

